

## 浜松の生活について

ポリテクセンター広島の三好先生より紹介を受けました浜松職業能力開発短期大学の朝長です。三好先生とはポリテクセンター岡山で一緒にさせていただきました。お互い同時期に赴任してまいりましたので、よく一緒に行動させていただき大変お世話になりました。

さて、この度のリレートークですが、浜松周辺のことについて書きたいと思います。

私は、新天地に行くときまずその土地の観光地を訪れたり、名物を食したりします。浜松に来たときもそういった場所を訪れてみました。

まず、短大の近くに中田島砂丘という大きな砂丘があるので早速訪れてみました。そこは鳥取砂丘ほどではありませんが、ちょっとした砂漠にいるような感覚が味わえ、波打ち際までいくと周りは砂と海、聞こえるのは波の音のみという環境なので頭をリフレッシュするにはちょうどよい所です。ただし、子どもを連れて行くと海までの距離が長いので途中でだっこすることになり、一汗かいてしまいます。また、短大からは条件がいいときは富士山を見ることが出来ます。遠く離れた場所からでも見えるその大きさに感心したり、三好先生と大変な思い

をして登山したときのことを思い出したりしながら眺めています。そのほかにもSLが走っている大井川鉄道や紅葉が綺麗という香嵐渓などいろいろな場所を訪れてはその景色を堪能しました。

食に関しても、浜松といえば浜名湖、浜名湖といえば鰻という私のイメージでこちらに来てしばらくして鰻を食べに行きました。この地域ではひつまぶし（鰻のお茶漬けのようなもの）というものがあり、大変美味しかったのを覚えています。ただ、名古屋で食べた手羽先のこのしょうの量には驚きました。かなりかけてあるため、初めはかけすぎなのではないかと疑いました。しかし、食べていくうちに美味しく感じられ、特にお酒には良く合うのではないかと思い始めました。私は九州出身なのでこれらがとても新鮮に感じられ、そのギャップを楽しみました。

岡山、浜松と転勤してまいりましたが、初めての土地は何もわからないので大変である反面、このような新しいものとの出会いが多いので、それらを楽しむようにしています。また、そのようなものを通して少しずつでも視野が広がることを期待しています。

今年の4月で6年目に入りましたが、まだ出会っていないものもたくさんあると思いますので、そういったものとの出会いを家族みんなで楽しみながら生活していきたいと考えております。

まとまりのない文章を書いてしまいましたが、次のリレートークの紹介をさせていただきます。次は、高知職業能力開発短期大学の磯部真一郎先生にお願いします。磯部先生は総合大の同期で、学生時代に一緒に音楽をした思い出があります。

それでは、磯部先生よろしく申し上げます。

